



ガラス組成と構造との関係

—熱力学的定数を使った一考察—

愛媛大学工学部 山下 浩



第76回応用化学科セミナー
2004年5月31日

緒言

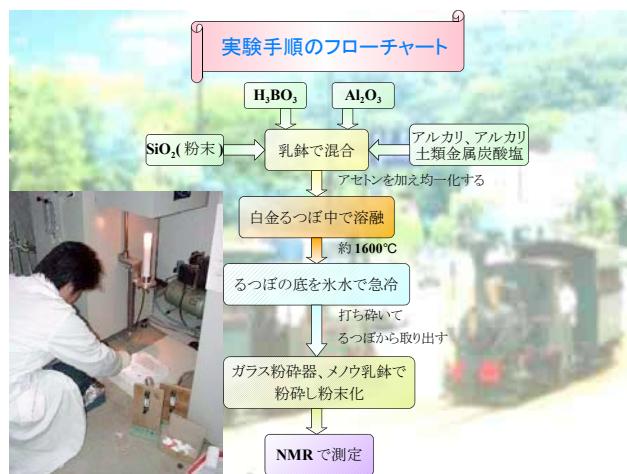
◎ SiO_2 、 Al_2O_3 、 B_2O_3 のような網目形成酸化物が共存するガラス中で、アルカリ、アルカリ土類金属酸化物のような網目修飾酸化物はどのような働きをするのか？

網目形成酸化物の酸としての強さの順
 $\text{B}_2\text{O}_3 > \text{SiO}_2 > \text{Al}_2\text{O}_3$

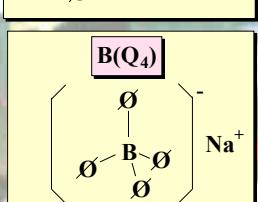
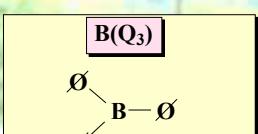
アルカリ金属酸化物： K_2O 、 Na_2O

アルカリ土類金属酸化物： MgO 、 CaO 、 SrO 、 BaO

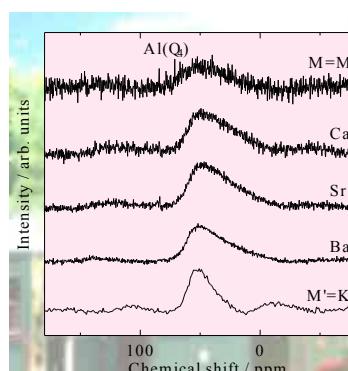
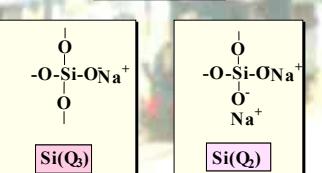
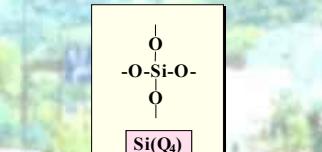
^{11}B 、 ^{27}Al 、 ^{29}Si MAS-NMR スペクトル解析により検討



B原子の周辺構造



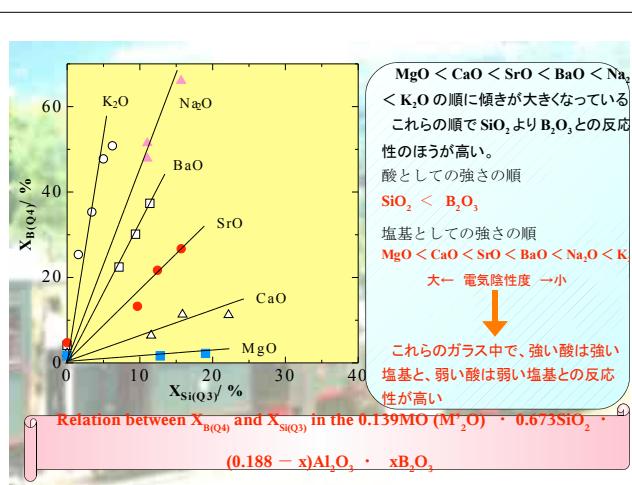
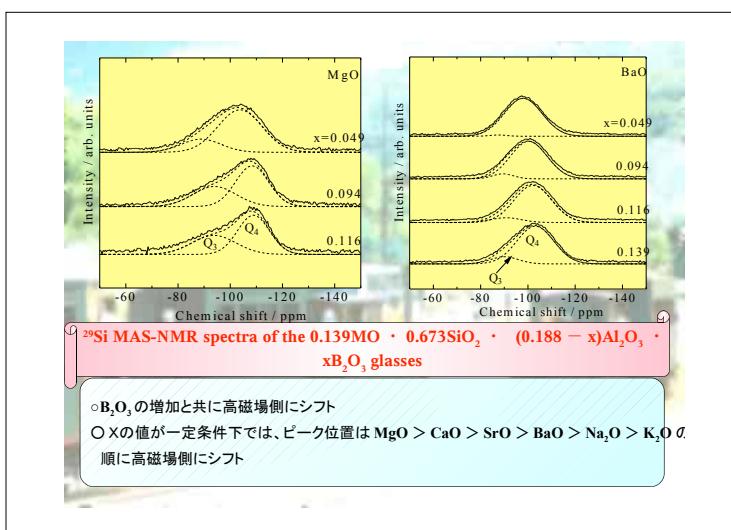
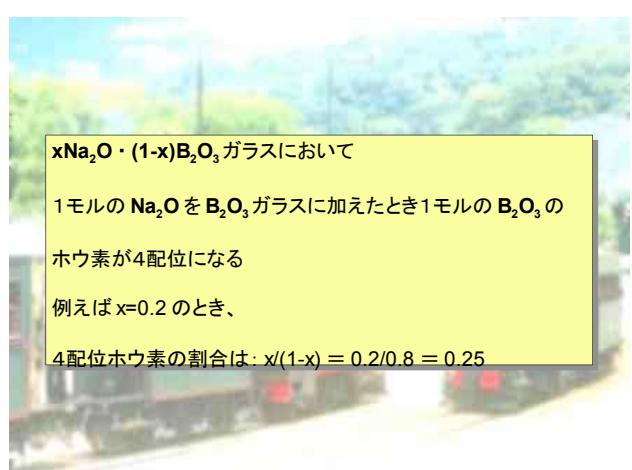
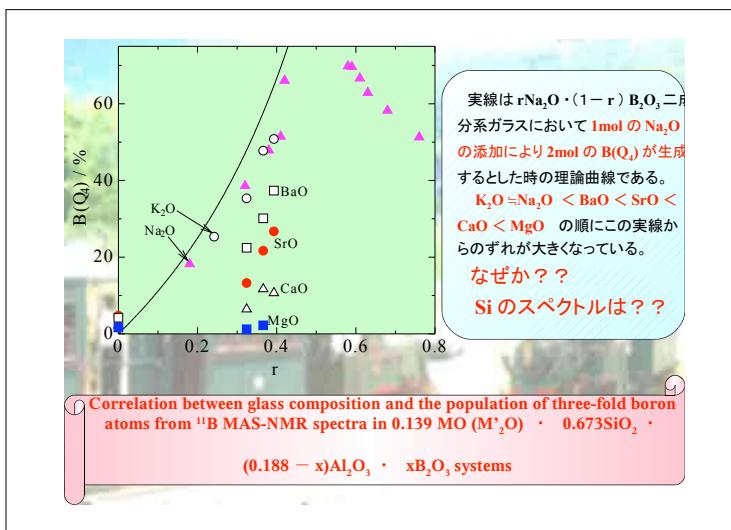
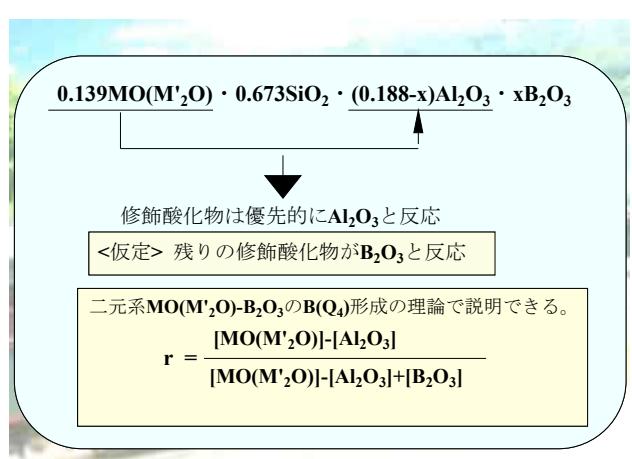
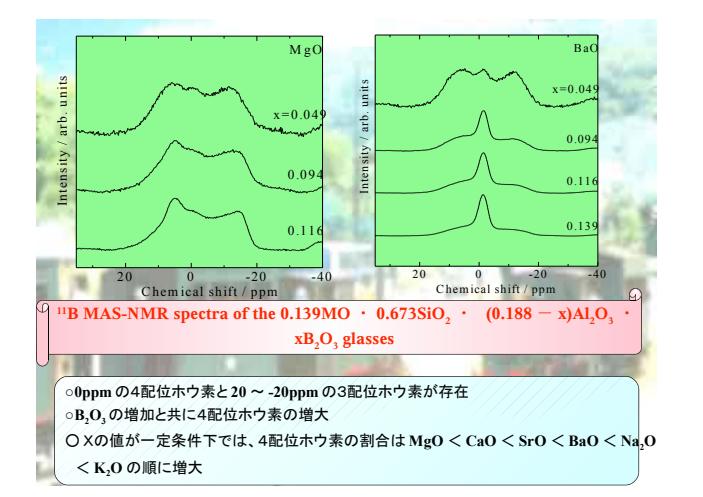
Si原子の周辺構造

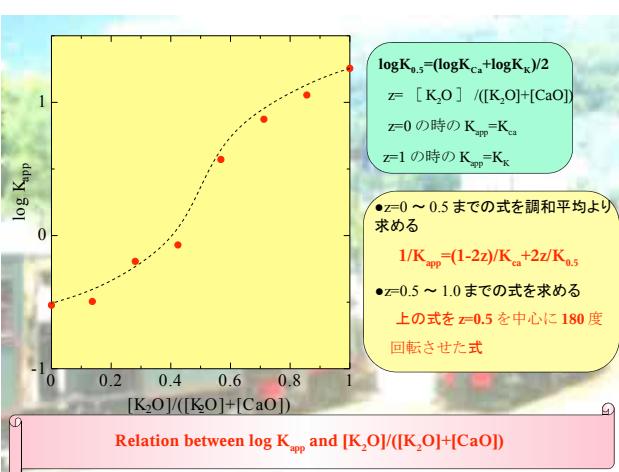
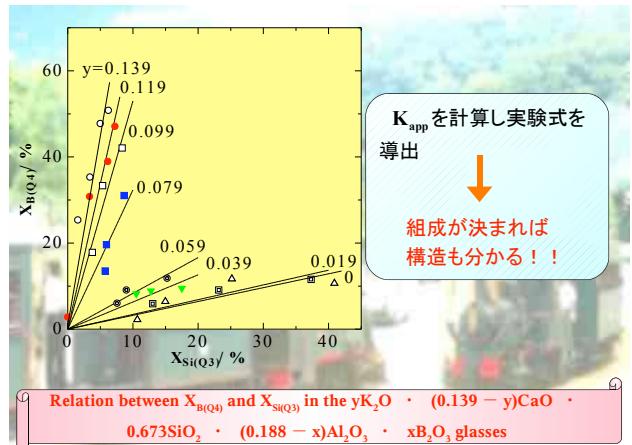


^{27}Al MAS-NMR spectra of $0.139\text{MO} (\text{M}'_2\text{O}) \cdot 0.673\text{SiO}_2 \cdot 0.094\text{Al}_2\text{O}_3 \cdot 0.094\text{B}_2\text{O}_3$

測定したすべての組成のガラスのスペクトルは 50ppm に $\text{Al}(\text{Q}_4)$ のピークが見られ、スペクトルに変化はなかった。







まとめ

- ガラス中に SiO_2 、 Al_2O_3 、 B_2O_3 の網目形成酸化物が共存するとき、アルカリ、アルカリ土類金属酸化物との反応の優先順位
 - 電気陰性度小 $\rightarrow \text{B}_2\text{O}_3$ と優先的に反応
 - 電気陰性度大 $\rightarrow \text{Al}_2\text{O}_3$ と優先的に反応
 - 電気陰性度大 $\rightarrow \text{SiO}_2$ と優先的に反応
- 二種の網目修飾酸化物が共存した場合、 SiO_2 及び B_2O_3 との反応性は網目修飾酸化物の割合の大きい方に強く影響を受ける

計算してみよう

$\text{RK}_2\text{O} \cdot (0.139-\text{R})\text{CaO} \cdot 0.188\text{B}_2\text{O}_3 \cdot 0.673\text{SiO}_2$ ガラスの $\text{B}(\text{Q}_4)$ の割合を求めてみよう。

先ほどの図より、この時の K_{app} の値は 0.61 である。

x モルのホウ素が 4 配位をとると考えると

$$\begin{aligned} K_{\text{app}} &= [\text{Si}(\text{Q}_4)][\text{B}(\text{Q}_4)]/[\text{Si}(\text{Q}_3)][\text{B}(\text{Q}_3)] \\ &= x\{0.673-(0.278-x)\}/(0.278-x)(0.376-x) \\ &= 0.61 \end{aligned}$$

この二次方程式を解くと、 $x = 0.077$
したがって $\text{B}(\text{Q}_4)$ の割合は $0.077/0.376 = 0.205$